

## 総会 ご意見と返答

○6期 F さんのご意見

第4号議案 食育授業請負停止について

支部役員様のご提案に賛成します。プロジェクトを立ち上げた時の役員としては残念な気持ちもありますが、スタッフ不足を補うための労力は大変な事と思います。私自身もなかなかご協力できず申し訳なく思っていますが、少しでも役員の方々の負担を軽減して頂き、他の活動へご注力して頂ければと思います。他議案についても賛成します。

●F さんへ都支部より

ありがとうございます。今後とも、宜しく申し上げます。

○10期 G さんのご意見

第4号議案 食育プロジェクト停止については承認いたしかねます。

この議案提出の理由のひとつとして、役員の負担軽減があがっています。役員の負担軽減については全く異存ございません。皆さんが大変な負担を背負って活動されていることを理解しております。その上ですが、活動報告を見わたして東京都支部が主体的に外部への茶の啓蒙活動として実施している大きなものが食育プロジェクトであり、これを最初に切り捨てるのは疑問に感じます。

食育プロジェクト内で費用、チーフの問題があり、これも停止の理由であることも理解しております。が、プロジェクト保持の上、毎年恒例で依頼される学校はチーフを固定してしまうなど、チーフの負担を減らしていく方法を検討していく（今回提案の個人依頼のやり方に近いものになってしまうかもわかりませんが）ことを望みます。

●G さんへ都支部より

役員負担については、ご理解頂いた上で、とのことですが、役員として、また、選挙管理委員としてのご経験もお持ちでいらっしゃる G さんからご覧になって、この先、このプロジェクトを問題なく運営するための役割を担う役員が現れると期待して良いとお思いになりますでしょうか。

学校ごとにチーフの固定をした場合、担当の方がどうしても都合がつかない、となれば、結局他のチーフが補うことになり、実質的に現在のやり方と大きな違いがあるとは思えません。担当チーフが引き受けられない場合は授業自体を断っても良い、というなら別ですが、依頼を断るというオプションは、現在の組合との話し合いでは都支部にはありません。

結局、「チーフがいない」「参加スタッフがいない」という致命的な状態を解決するために動くのは誰なのか、という問題です。

現チーフ6名の内、2名は役員を兼ねています。状況は、正確に把握しているつもりです。その上で、将来的に、このスタイルを維持するのは難しく、改革をするなら今である、と判断しました。

○11期Hさんから

【意見は特にない】に○をされていましたが、下記のようなコメントを頂きました。

総会議案には意見はないのですが、各イベント等のスタッフ募集や選出について疑問に思うことがあります。

●Hさんへ都支部より

具体的にどのようなことなのか挙げていただかないと検討の余地がありませんので、疑問点はぜひお申し出いただけますと有難いです。

○18期Iさんのご意見

第4号議案「食育授業」について

慢性的なスタッフ不足など、大変ご苦労されている様子がわかりました。私自身は一度も参加していないので、意見を申し上げるのは恐縮なのですが・・・

現在は廃止されていますが、プロジェクトの登録制や事前の研修会参加など、ハードルが高いなあと感じていました。

しかし、日本茶普及にとり大切な活動と思っています。

拙案ですが、以下を記させていただきます。（工夫例、改善策として記します）

①通信教育のテキストの項目に加える

今回の資料に「小学生などは使用できる単語が限られている」などという文面がありました。

テキストに、ケース毎の注意点やテクニック集などとしてノウハウを掲載する。

②通信教育のビデオに小学校での授業風景の代表例を加える

高額な学習費を払う分、いろいろな知識を得られ、まとまっていると協会や支部を経由しなくても個人の活動としても参考となり良いと思います。また、「こんな授業をしました」という動画配信があると参考になると思います。（支部総会での上映なども）

●Iさんへ都支部より

ご意見ありがとうございます。残念ながら、通信教育のテキスト内容に、支部は関わるすべを持たないのですが、ご意見はごもっともだと思います。

授業の動画配信は、個人情報保護の観点から非常に難しいのですが、あればとても参考になると思います。

第4号議案そのものについてはご賛同頂いた上で、上記の改善策をご提示下さったと理解してよろしいのでしょうか。